

日連発第20-784-1号（教開）
2020年11月22日

ボーイスカウト都道府県連盟
理事長 各 位
県連盟コミッショナー 各 位
事務局長 各 位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

新型コロナウイルス感染への対応について
(注意喚起)

新型コロナウイルス感染症については、本年8月第1週をピークとして減少が続いた後、ほぼ横ばいでありましたが10月以降増加傾向となり、11月以降はその傾向が強まり、特に感染増加傾向にある地域では、感染状況のステージ（警戒レベル）を上げています。

本連盟では、これまでの間、全国の関係者の皆様に「新しい日常にむけて（今後の取り組み）」として、スカウト活動を各自治体、地域とも連携して、活動の在り方、実施の可否などの判断を地域に委ねることとし、各県連盟での方針をご検討、ご確認いただきながら、ご対応いただくようお願いしてきました。

今般の社会的な状況では、感染状況は急速な広がりを見せ、クラスター（感染集団）も多様化している様子があり、そのような中で、Go To トラベルなどの展開もあり、すべての行動を制限するのではなく、新型コロナウイルス感染症を拡げないための注意として、3つの密（密閉・密集・密接）を避けることに加え、「5つの場面1※」での注意が呼びかけられています。

このような状況も踏まえ、改めて、これまでのとおり、各地域の状況に応じた対応を引き続き行うようお願いいたします。また、以下に、特に活動においてご配慮いただきたい点、また、関連情報などをまとめ、お伝えいたしますので、貴連盟内にご周知いただきますようお願い申し上げます。

※「5つの場面」・・・感染が高まる①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わりといった場面

記

<活動における配慮事項>

1. 地域の感染拡大状況を注視し、スカウトたちの安全を第一に考えた活動を行う。
2. 活動内容の変更や延期、中止を視野に入れ、地域社会における感染拡大のリスクを高めないように努める。
3. 関係者全員（スカウト、指導者、ご家庭など）が、「新しい生活様式」の徹底に努める。

<感染拡大の可能性のある場合>

1. 感染リスクはゼロにならないことを前提として、スカウト活動に関連した活動で、感染が拡大した、もしくは拡大の可能性が疑われるような事態があった場合は、関係者は各組織を通じた連絡（団→（地区）→県連盟→日本連盟）を速やかに行う。

2. この際に、感染者及びその家族等への差別・偏見・誹謗中傷などが生じないように十分にサポートする。

<スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン>

ガイドラインで引用している文部科学省の『「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準』が更新されていることから、内容を更新。

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_guideline/

以上

この件に関するお問い合わせ：教育開発部 e-mail：komi@scout.or.jp